



“まちづくり”を考える情報誌

vol.



# おっ!! まっちゃん~

154

Let's まちづくり from now on

2026 JUNE

編集発行：群馬県県土整備部都市計画課



国道17号 渋川西バイパス空撮

特集

## まちの変化を道と灯りから ~地域の魅力を育てる交通と景観~

● 国道17号 渋川西バイパスの開通

- トピックス **群馬県官民連携まちづくりシンポジウム**
- トピックス **令和7年度みどり市景観講演会**  
「豊かな『人の景』をデザインする~人中心の公共空間デザイン・マネジメント~」
- 投稿 **富岡市景観まちづくり講演会**  
~とみおかが好きになる街あかり~性能照明設計にあかりの事例~
- 投稿 **地域企業の貢献**  
~資産有効活用による期間限定の魅力創出プロジェクト~





# 国道17号 渋川西バイパスの開通

国土交通省 関東地方整備局  
高崎河川国道事務所

## ■ 渋川西バイパス（渋川西IC～金井IC）が開通

高崎河川国道事務所が整備を進めてきた国道17号 渋川西バイパスが令和8年3月14日に開通しました。

同日行われた記念式典では関係自治体の首長や議員など多くの方々にご参加いただき、テープカットや通り初めなどの記念行事を行いました。



開通式の様子

## ■ 渋川西バイパスの概要

渋川西バイパスは、渋川市内の交通混雑の解消と渋川・吾妻地域の連携及び地域活性化の支援を目的とする道路です。

高規格道路である「上信自動車道」の一部を構成する延長5.0km（一部現道拡幅・現道活用）の道路です。



上信自動車道全体図



渋川西バイパス全体図

※高規格道路は、広域的な連携強化やネットワーク補完を担い、自動車専用道路に相当する速達性・信頼性と一定のサービス速度の確保を目的として整備される道路です。

## ■ 渋川西バイパスの整備効果

### ① 広域ネットワークの形成

渋川西バイパスは、高規格道路である上信自動車道の一部を構成し、渋川・吾妻地域を結ぶ強靱な道路ネットワークを構築します。

### ② 観光誘客を後押し

渋川西バイパスおよび上信自動車道の整備により、万座温泉、草津温泉、四万温泉、八ッ場ダム等の観光地へのアクセスが容易となり、観光客の増加や雇用の創出、顧客サービスの向上等、地域活性化が期待されます。



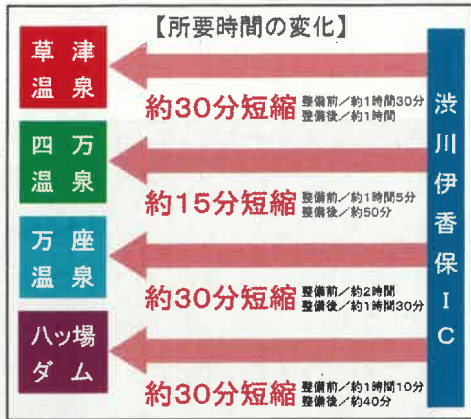


### ③交通の円滑化・安全性の向上

渋川西バイパスの整備により、国道17号現道の混雑時の旅行速度は、約1.5倍に向上する見込みです。  
また、交通混雑の緩和により、死傷事故件数は約2割減少する見込みです。

### ④安全性・信頼性の向上

国道144号、国道145号、国道353号及び周辺道路での被災時の代替路（吾妻地域から第3次医療施設への経路）として、吾妻地域へのアクセスが向上して、安全性・信頼性の向上が期待されます。



観光地への移動時間短縮

## ■ 地元保育園のマラソン大会を開催

開通前の道路を利用して、地元パンジー保育園のマラソン大会を開催しました。

子供達は青空の下、渋川の町並みを背に新しい道路を元気よく駆け抜けていきました。

園児たちからは、緊張しながらもあきらめずに頑張り、楽しかったとの声が聞かれました。



マラソン大会の様子

## ■ 整備前後



整備前



整備後

## ■ 終わりに

用地をご提供いただいた地元の皆様、整備促進にご尽力くださった皆様をはじめ、多くの関係者の皆様に心から御礼を申し上げます。





# 群馬県官民連携まちづくりシンポジウム

群馬県 県土整備部 都市計画課

令和8年3月24日(火)、群馬会館にて「官民連携まちづくりシンポジウム」が開催されました。(株)ハートビートプラン代表取締役の園田聡氏による基調講演や富岡市及び前橋市による事例発表、各登壇者によるトークセッションが行われました。

## ■ 第1部 基調講演

はじめに基調講演として、(株)ハートビートプラン代表取締役の園田氏に「公共空間を活かす力ーエリア価値を高めるプレイスメイキングー」と題して登壇いただきました。まちの価値基準から問い直すことが重要であり、定量的・定性的などのような指標でまちを見るかによって目指すべき方向性が変わると導入があり、続くプレイスメイキングの観点では、活動と空間の適切なマッチングが必要であり、「(形態+活動)×印象=居場所」の式が成り立つとし、松本市での取組を例に話されました。官と民の関係性について、従来の考え方であるサービス提供者と消費者という構造(行政が立案、住民が消費)から、多様な共創で持続可能な取り組みにシフトしている。また、地域の人々が地域の資産を用いて地域で取り組むことも重要と話されました。



基調講演の様子

## ■ 第2部 取組紹介

続いて自治体の取組紹介として、富岡市及び前橋市が登壇されました。富岡市は、パークレットを用いたまちなか周遊性向上に向けた検討について発表がありました。富岡製糸場とその最寄り駅である上州富岡駅とを結び動線上に回遊が生まれにくいといった課題から、人の流れをつくる仕掛けが必要であると考え、群馬県と富岡市が共同でパークレットを設置する社会実験の紹介がありました。世界遺産センター「セカイト」の入り口にパークレットを設置することで、小さな交流の場が生まれるとともに、駅と製糸場との間に新しい回遊動線が生まれることを期待しています。

前橋市からは広瀬団地再生に向けた取り組みについて発表がありました。広瀬団地では住民参加型のワークショップを設け、行政だけが決めるのではなく、住民や学生、事業者と一緒に団地の魅力や課題、将来像を言葉にしていきました。そうして定めた「広瀬団地再生ビジョン」に基づき、公園遊具の塗装やスポーツ大会、近隣の神社の境内を活用した交流イベント、祭事など、実践的な取り組みを進めています。同じビジョンを共有することにより、住民たちの「やってみよう」が生まれ、「自分事」に感じる仕組みが定着しています。

## ■ 第3部 トークセッション

最後に講演及び事例発表の登壇者でトークセッションを行いました。官民連携の円滑な進め方や座組のポイントについて議論がされ、行政目線だけでなく民間や住民の柔軟な考えを取り入れる相互理解の姿勢が必要、みな生活者である点は同じなため、共通の観点から感じる意見を「まち」に落とすことが重要であるといった意見がでました。

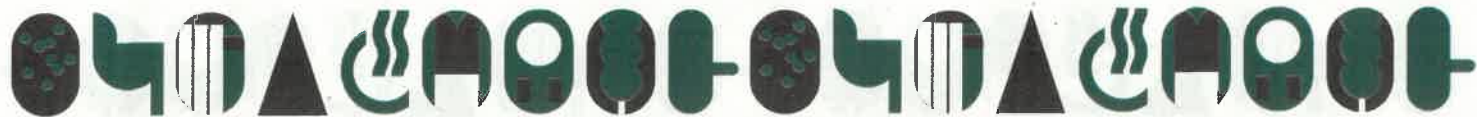


トークセッションの様子



参加者で記念撮影





## 令和7年度みどり市景観講演会

### 【豊かな『人の景』をデザインする～人中心の公共空間デザイン・マネジメント～】

みどり市 都市建設部 都市計画課

みどり市では、令和3年度に景観計画を策定し、本市における良好な景観資源を維持、活用し、新たな魅力の創出に取り組んでおります。その一環として多くの皆様に景観まちづくりについて関心を持っていただくため、「みどり市景観講演会」を開催しております。

今年度は、本市で空き家、空き店舗による景観阻害が問題となっていることから、都市デザイン分野に精通し、まちなかに魅力的な住環境を創出している国土舘大学理工学部准教授の西村亮彦さんを講師に迎え、令和8年3月11日(水)にながめ余興場にてご講演いただきました。当日は約60人の方に足を運んでいただきました。

西村さんが研究されている公共デザインは、建物単体ではなく、街路、広場、公共空間を含む「まちの骨格」をデザインする学問であり、住環境を良好に保ち、にぎわいを創出するための基盤となるものです。西村さんの研究活動の一つである「出張DIY広場」はソトノバアワード2020部門賞を受賞されています。また、滞留空間が不足している浅草雷門通りで、車道の一部を歩行者のための空間に転用し、まちを訪れる人たちの憩いの場としてDIYを行った「浅草雷門通りパーケード」は「グッドデザイン賞2024」を受賞されています。

講演会では、まず市から、みどり市景観計画について説明を行いました。市の発表後、「豊かな『人の景』をデザインする～人中心の公共空間デザイン・マネジメント～」というテーマで、道路整備のデザインと運営管理によってまちなみの風景が変化する仕組みをメキシコでの経験や研究活動での事例を交えてご講演いただきました。なかでも、ウォークラブルなまちとは、「まち全体が広場のよう」であり、「誰がどのような動きをしているのか、まちの使われ方をイメージすることが大切である」というお話



会場の様子



講師：西村 亮彦氏



質疑応答

が印象的でした。道路の常識を覆す実践力とまちの「面白さ」を生むアプローチによって、人から生み出される景観と歩車共存の新しい公共空間のアイデアを学ぶことができました。西村さんの多くの活動の中で共通しているのは、トライ&エラーを繰り返し、様々なアクションを実践する探究心を大切にしていることです。都市の面白さやわくわくするものとは何かについて分析し、人、空間、消費活動を通して、歩きたくなる道路空間を演出しています。本講演会を通して住民、事業者、行政が連携して積極的に施策に参加する姿勢を学ぶことができ、みどり市の今後の景観まちづくりにもつながりのある大変興味深い講演でした。





# 富岡市景観まちづくり講演会

## ～とみおかが好きになる街あかりー性能照明設計にあかりの事例ー～

富岡市 建設水道部 都市計画課

富岡市では、景観形成の推進と市民の景観意識の向上を目的として、「富岡市景観まちづくり講演会」を開催しています。令和8年2月28日(土)に富岡製糸場 国宝「西置繭所」にて開催し、一般の方から行政関係者まで、約80名の皆様にご参加いただきました。今回は、「まちの魅力を引き出す景観まちづくり」をテーマに、地域資源を活かした取組事例に焦点を当てました。

### ■ 講演内容

本講演会では、「とみおかが好きになる街あかりー性能照明設計にあかりの事例ー」をテーマに、ほんぼり光環境計画株式会社の角館政英氏を講師に迎えました。

角館氏は、照明デザイン分野の第一線で活躍されており、富岡市においても、上州富岡駅及び駅前周辺の改修整備、さらに富岡商工会議所建設等の際に照明計画を担当されました。また、東日本大震災で甚大な津波被害を受けた気仙沼市では、照明を用いた高台避難誘導や防潮堤整備を推進し、土木学会土木デザイン優秀賞やグッドデザイン賞などを受賞されています。

講演では、照明は防犯性の向上だけでなく、地域の特徴を活かした景観づくりや、記憶に残る空間演出に重要な役割を果たすことが紹介されました。

実例を交えた内容は分かりやすく、参加者の関心を集めました。



講演会の様子



角館政英さん

### ■ 景観賞表彰

講演会と併せて、富岡市景観賞表彰式を実施し、「パーソルダイバース株式会社とみおか繭工房妙義・とみおか繭工房富岡倉庫」が表彰されました。本団体は、富岡市を拠点とする特例子会社で、養蚕や桑園の管理、景観重要建造物を活用した飲食店の運営など、地域資源を活かした事業を展開しています。これらの活動は、富岡市景観づくり会議の審議においても、高く評価されました。



とみおか繭工房富岡倉庫



受賞団体の活動の様子

### ■ 景観行政としての想い

富岡市では、世界遺産「富岡製糸場」を有する一方で、観光客数の減少が課題となっています。今回の講演を通じ、地域資源の活用や「あかり」による魅力づくりの重要性について理解を深めることができました。

今後も景観まちづくり講演会等を通して、景観意識の向上を図り、魅力あるまちづくりを推進していきます。





## 地域企業の貢献

### ～資産有効活用による期間限定の魅力創出プロジェクト～

群馬県 県土整備部 都市計画課  
(取材協力：東邦亜鉛株式会社)

まちづくりや地域の魅力づくりに、決まった形はありません。地域の特性や、そこに関わる人々の思いに応じて、多様な手法が生まれていきます。今回ご紹介するのは、東邦亜鉛株式会社安中製錬所による、期間限定の工場夜景復活プロジェクトです。

本プロジェクトについて、資産の有効活用・地域活性化の観点で東邦亜鉛株式会社安中製錬所の方にお話を伺って参りましたので、ご紹介いたします。

東邦亜鉛株式会社安中製錬所は、事業再編により工場稼働範囲が縮小され、長年愛されてきた工場夜景は惜しまれつつ、以前より暗くなっていました。

そんな安中市長をはじめとして、地域の方々からは「なんとかこの夜景を残せないか」という声が寄せられ、安中市の合併20周年事業として、令和8年3月18日から23日の6日間の限定で工場の明かりが点灯され、夜景が復活しました。

担当者の中島さんは、「ここまで反響を呼ぶとは思わなかった」、「長い間、地域や観光客に愛されていた施設であることを改めて実感した」と振り返ります。実現させるには、使用を止めていた複数の照明を点灯させる必要があったため、苦労した点もあったとのことですが、プロジェクトを成功させるため最善を尽くす思いで、事前に試験点灯を実施し、見栄えについて複数箇所から確認を行ったとのことでした。かつては地元のシンボルとして、帰省者から「地元を実感する明かり」などとして親しまれてきたこの夜景は、最近では県外等遠方からもファンが訪れる観光スポットとしても親しまれておりましたが、本プロジェクトの実施が報道されると、ファンから複数の反響があったとのことでした。期間限定ではありましたが、プロジェクトを見に訪れた地元の方、工場OBの方やファンらから「思い出の夜景が復活してうれしい」との声をいただいたとのことでした。

本記事では、地域に親しまれてきた貴重な夜景の復活に取り組みされた地域企業の期間限定のプロジェクトを紹介しました。担当者の方からお話を伺い、最善を尽くして地域やファンの思いに答えたいという熱い思いが伝わってきました。地域に根付いた資源を見直し、活用することで、新たな価値を生み出した事例といえます。まちづくりにおいては、新たな整備だけでなく、こうした既存の魅力をどのように活かしていくか、そして、こうした地域を愛する思いがとても大切であるということを改めて学びました。

取材協力いただきました方々には感謝申し上げます。ありがとうございました。



・期間限定で復活した東邦亜鉛株式会社安中製錬所の工場夜景





# まちづくり イベント情報



## 自然の森を歩こう

葉や草花・木の観察、自然や森の声に耳をすます。  
 解説はNPO法人ぐんま緑のインタープリター協会。  
 6月は虫をさがそう  
 7月はネイチャーゲーム  
 参加費無料・予約不要 歩ける服装、飲物持参  
 ■6月27日(土)／7月18日(土) 10:00～12:00  
 ■観音山ファミリーパーク 自然の森・パーク内  
 【お問い合わせ先】  
 観音山ファミリーパーク  
 Tel. 027-324-9210  
 (クラフト工房)



## たんばらラベンダーパーク

関東最大級5万株のラベンダー畑。標高1300mの清涼な高原リゾートは夏でも爽やか。見頃は7月中旬から8月中旬。  
 ■6月27日(土)～8月30日(日) (予定)  
 8:30～17:00 (最終入園15:45)  
 ■たんばらラベンダーパーク  
 【お問い合わせ先】  
 たんばらラベンダーパーク  
 Tel. 0278-23-9311



## 第7回温泉郷クラフトシアター ～四万温泉で出会う 作家・ものづくり～

群馬の名湯にクラフト作家・アーティストが終結！  
 その技に触れ、あなただけの一品を作りませんか。  
 ■7月18日(土)～7月26日(日) 10:00～17:00  
 ■四万温泉地内  
 【お問い合わせ先】  
 四万温泉協会  
 Tel. 0279-64-2321



## 2026おうら祭り

邑楽町最大のイベント。子どもから大人まで楽しめるイベント盛りだくさん。フィナーレの打上花火は約8,000発。夏の夜空を盛大に彩ります。  
 ■8月23日(日) 13:00～20:30  
 ■おうら中央多目的広場  
 【お問い合わせ先】  
 邑楽町役場商工振興課 (おうら祭り実行委員会事務局)  
 Tel. 0276-47-5026



総合建設コンサルタント

株式会社 **アイ・ディー・エー I.D.A**

コンストラクションマネジメント/インフラメンテナンス/都市計画・まちづくり/防災・減災事業/指定管理事業など、官民連携に関わる広範囲な事業展開

企業理念(STEP)



官民連携事業でお困りの際は、当社までお気軽にご相談ください。



群馬県高崎市倉賀野町4221番地13  
TEL 027-384-6600  
FAX 027-384-6601  
URL: <https://www.ida-web.jp>

東立公園アイ・ディー・エー群馬の森  
指定管理者 (令和6年度～)

## まち'sクリの独り言



雨の日も少しずつ増えてきたけど、みなさん元気に過ごしてるクリか？梅雨の時期は、体調管理も大切クリね。無理せず、ゆったり過ごしながら、この季節ならではの楽しみも見つけていってほしいクリ。  
 今月の「おっ!!まっちい～」でも、まちの話やイベント情報を紹介しているクリ。気になるものがあったら、ぜひチェックして、無理のない範囲で実際に足を運んでみてほしいクリよ。「こんなイベントを紹介してほしい!!」「この取組、知ってほしい!!」そんな声があったら、気軽に教えてほしいクリ。できるだけ、まちの現場へ駆けつけるクリよ。  
 これから暑さも本格的になってくるから、水分補給や休憩を忘れずクリ。今月も「おっ!!まっちい～」と一緒に、まちを楽しんでいくクリ。引き続き、よろしくお祈りしますクリ～。

有料広告を随時募集しています。詳細につきましては、下記のお問い合わせ先まで、お気軽にご連絡下さい。

【お問い合わせ先】群馬県県土整備部都市計画課企画推進係

TEL 027-226-3661 URL <https://www.pref.gunma.jp/page/11493.html>

